

2024年度 愛知みずほ大学出張講座 講師・テーマ一覧



健への探求

豊かで活力ある健康社会
に貢献する人を目指して

本学の出張講座は、地域と大学との交流を図ることを目的に、高等学校・中学校等の教育機関や地域の方々を対象に無償で提供しているものです。一部オンライン配信が可能です（一覧表でご確認ください）。

1. 講師・テーマ一覧

内容についてご希望がございましたらご相談下さい。

2. 申し込み方法

随時受付けております。お申し込みを希望される方は、右記のQRコードを読み取り頂き専用ページより申し込みを行ってください。

アドレス

<https://forms.office.com/r/f8Fa5PnqYz>



3. お問い合わせ窓口

愛知みずほ大学コミュニティ委員会

メールアドレス ml-community-com@mizuho-c.ac.jp

2024年度 愛知「みずほ大学 出張講座テーマ一覧

教員名	専門領域	テーマ	オンラインの可否
1. 今澤 正彦	外科学	・医学から見る喫煙	可
2. 梅本 大介	教育学	・未来の主権者を支える教育とは	可
3. 上井 靖	ファシリテーション	・ファシリテーション入門 ・Feel° Walk してみよう！ ・ロジカルシンキングって何？	否
4. 刑部 純平	運動生理学	・科学的知見に基づく熱中症対策と救急処置 ・科学的知見に基づく筋肉痛の予防対策と処置	可
5. 木戸 盛年	健康心理学	・心と身体健康-ストレスに向き合い上手に付き合う ・やめたくてもやめられない人の心のメカニズム	可
6. 後藤 多知子	学校保健	・子どもの発育は、鳥の目・虫の目でみよう —成長曲線とは— ・適切なボディイメージをもとう」(児童・生徒対象)	否
7. 近藤 由里子	看護学	・バイタルサインについて ・手洗いのすすめ	否
8. 舘 英津子	看護学	・たばこの害について ・妊娠の仕組み	可
9. 土屋 マチ	臨床心理学	・カウンセリングってどういうもの？	否
10. 長岡 由紀子	臨床心理学	・布コラージュを楽しむ ・声で楽しむ児童文学	否
11. 阪 美里	情報科学	・自分の身は自分で守る	否
12. 廣井 いずみ	犯罪心理学	・非行傾向のある子どもの理解と支援 ・聴く力を身につける	否
13. 森 千鶴	養護教育	・よりよいコミュニケーションを築くために ・養護教諭が行う健康相談	否
14. 山根 基	運動生理学	・スポーツの現場における取り組みとその理論 ・健康づくりとしての運動の役割	否

いまざわ まさひこ
今澤 正彦

心身健康科学科
(外科学)

出張講座テーマとねらい

医学から見る喫煙

煙草について取り沙汰されている害について、医学の視点から解説します。

講師紹介

専門分野

外科学

プロフィール

愛知みずほ大学 教授

博士 (医学)

名古屋大学医学部医学科卒業。臨床現場での医師としての実務の後に、名古屋大学大学院医学系研究科機能構築医学専攻病態制御外科学修了。引き続き臨床現場での実務を重ねた後に、愛知学院大学講師を経て、現職。

うめもと だいすけ
梅本 大介

心身健康科学科
(教育学)

出張講座テーマとねらい

未来の主権者を支える教育とは

18歳選挙権が導入されたことを契機に、主権者教育が各学校や地域社会で実践されています。しかし、主権者にはどのような資質や能力が求められ、具体的にどのような方法でその資質や能力を獲得することができるのか、課題も多いのではないのでしょうか。政策理解に必要な知識の教育ばかりでなく、SDGsやキャリア教育などへのアプローチも必要でしょう。

講師紹介

専門分野

日本教育史（教育をめぐる政治行政の歴史）

プロフィール

博士（教育学・早稲田大学）。早稲田大学政治経済学部卒、同大学大隈記念大学院公共経営研究科専門職学位課程修了、同大学大学院教育学研究科満期退学。国会議員政策担当秘書資格認定（2015年、衆議院より認定）。早稲田大学非常勤講師、同大学大学史資料センター専門嘱託を経て、愛知みずほ大学准教授。教育原論や教育史など教育学をテーマとする教職課程科目を担当しています。他、愛知みずほ大学の自校史教育として瑞穂区や愛知県の歴史も学生たちに解説しています（『健 瀬木学園創立80周年記念誌』（2020年）の編集委員）。

〔研究テーマ〕

主権者教育に関連することは、教職課程科目の授業を通して学生たちと学びを深めています。以下のような研究成果があります。

- ① 安彦忠彦、梅本大介「学校における今後の道德教育の在り方ー道德の時間の教科化をめぐるー」、『神奈川大学心理・教育研究論集』第42号、2017年、pp. 7-19、神奈川大学教職課程研究室。
- ② 安彦忠彦、梅本大介「次期学習指導要領の方向性とその吟味」、『神奈川大学心理・教育研究論集』第40号、2016年、pp. 5-16、神奈川大学教職課程研究室。

また、学校安全など「警察行政と教育」についても研究しています。

- ③ 梅本大介「教員養成課程における教材としての『拉致問題』と大学生への期待」『大警視だより』続刊No18、2024年、pp. 31-33、大警視川路利良研鑽会。

うわい やすし
上井 靖

**心身健康科学科
(ファシリテーション)**

出張講座テーマとねらい

ファシリテーション入門

ファシリテーションとは、集団による知的創造活動の促進する働きのことです。ファシリテーションを実感できるグループワークを体験します。チーム内で、相乗効果や化学反応が生成されたのかを、フィードバック&振り返りから探り、ファシリテーションに欠かせない場づくりの理解を深めます。

Feel° Walk してみよう!

あてもなく歩き回る中で、「?」と思ったものを写真に写します。写したものをスケッチし、仲間同士で共有し、「なぜその写真をとったのか?」「たぶん、、、だからだろう」など、疑問や理由を妄想し合います。知的好奇心、ブレインストーミング力を高め合うことにつながる楽しい活動を体験します。

ロジカルシンキングって何?

ロジカルとは何か?クイズやグループワークを通して、論理的に考える楽しさを味わい、自分の今後の探究・研究などに役立つことを実感します。

講師紹介

専門分野

理科教育、人権教育、キャリア教育、学校経営、学校教育全般、ファシリテーション、ロジカルシンキング、組織開発

プロフィール

名古屋市立中学校理科教諭、名古屋市教育委員会指導主事、名古屋市立中学校4校の校長を務め、定年退職(2018.3)、愛知教育大学非常勤講師(2018~2022)を経て、現在は、愛知みずほ大学特任教授、金城学院大学・椋山女学園大学の非常勤講師、名古屋市キャリアサポート事業・学習支援事業に関わる(2019~)

- ・A-sessionsを起業(2018~)講演・研修講師業
- ・特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 現在フェロー、元理事・監事
- ・特定非営利活動法人アスクネット 現理事
- ・国家資格キャリアコンサルタント(2019~)
- ・法務局 人権擁護委員(2022~)

おさかべ じゅんぺい
刑部 純平

**心身健康科学科
(運動生理学)**

出張講座テーマとねらい

科学的知見に基づく熱中症対策と救急処置

近年、熱中症による救急搬送や死亡事故が増加傾向にあります。したがって、熱中症の対策と処置についての正しい知見を身につけることは極めて重要です。そこで、最新の科学的知見に基づいた熱中症予防対策、および救急処置方法について、実践も踏まえながら、一般の方にも分かりやすくお伝えします。

科学的知見に基づく筋肉痛の予防対策と処置

運動は健康維持のために重要です。しかし、久しぶりの運動や慣れない運動をすると後日筋肉痛が生じてしまいます。筋肉痛があると運動をするモチベーションが下がってしまい、運動をする機会を失ってしまう可能性があります。そこで、最新の科学的知見に基づいた筋肉痛予防対策、および処置方法について、実践も踏まえながら、一般の方にも分かりやすくお伝えします。

講師紹介

専門分野

運動生理学、スポーツ医学、健康科学、トレーニング科学
(主な研究テーマ：熱中症対策と救急処置、筋肉痛対策と処置)

プロフィール

愛知みずほ大学人間科学部心身健康科学科 講師

研究室ホームページ：<https://josakabelab2023.my.canva.site/>

〔保有資格〕

博士（スポーツ科学）、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、NSCA認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト

〔所属学会〕

日本体力医学会、日本生気象学会、日本体育・スポーツ・健康学会、日本アスレティックトレーニング学会、日本テニス学会 〔社会活動〕

日本ラクロス協会 医科学委員

きど もりとし
木戸 盛年

**心身健康科学科
(健康心理学)**

出張講座テーマとねらい

心と身体の健康-ストレスに向き合い上手に付き合う

心と身体の健康にストレスは深く関連しており、心と身体のどちらかの健康が損なわれるともう片方の健康に悪影響をもたらします。ストレスに向き合い上手に付き合えるようになるために、心理学の研究から得られた知見を紹介します。

やめたくてもやめられない人の心のメカニズム

人は様々な行動をして日常生活を送っていますが、気晴らしのために趣味程度に楽しんでいた行動が、いつの間にかその行動をやめたくてもやめられなくなってしまうことがあります。この時の人の脳や心はどうなっているのか、どうすればそういった行動と上手に付き合うことができるのか、心理学の視点からお話しします。

講師紹介

専門分野

学習心理学・実験心理学・健康心理学

プロフィール

愛知みずほ大学 講師

博士（心理学）・公認心理師

関西学院大学文学部心理学科卒業、関西学院大学大学院文学研究科心理学専攻修了、関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理学領域単位取得満期退学、神戸学院大学 助手、大阪商業大学 助教を経て、現職。

。

ごとう たちこ
後藤 多知子

**心身健康科学科
(学校保健)**

出張講座テーマとねらい

子どもの発育は、鳥の目・虫の目でみよう —成長曲線とは—

子どもの発育（身長など）の仕方は個人差が大きい。発育が順調かどうかをみる際には、データを横断的にみる視点と縦断的にみる視点が必要です。成長曲線を描くことの意義、見方、活用について理解が深まることを目標とします。（保護者・保育士・養護教諭など子どもの成長を支援する立場の方対象）

適切なボディイメージをもとう」(児童・生徒対象)

児童生徒が発育期に適正なボディイメージを持っていないことは生涯の心身の健康に悪影響を及ぼすといっても過言ではありません。適切なボディイメージを持つことの必要性や自分にとっての適性体重について理解をすること、発育発達期の体格の変化の特徴や個人差について理解が深まることを目標とします。

講師紹介

専門分野

学校保健・養護教育（養護教諭に関すること）について

プロフィール

愛知教育大学修士課程養護教育学専攻修了。愛知県公立小中学校養護教諭として勤務。愛知教育大学養護教諭養成課程非常勤講師を経て、愛知みずほ大学准教授。主に教員免許状に関する科目を担当：学校保健、健康相談・健康相談活動、青少年期発達支援論、養護活動実習、養護実習、教職実践演習、教職論作文面接技法等。

こんどう ゆりこ
近藤 由里子

心身健康科学科
(看護学)

出張講座テーマとねらい

バイタルサインについて

生命徴候である体温、脈拍、呼吸、血圧についてその仕組み、正常値、正確な値を得るための測定方法について講義を行います。

手洗いのすすめ

手洗い、手指消毒の効果的方法、スキンケアの必要性などを講義します。また、効果的な手洗い方法を実際に行い、自己の手洗いの傾向を知る機会とします。

講師紹介

専門分野

看護技術

プロフィール

愛知みずほ大学特任教授

独立行政法人国立病院機構（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターを含む）に看護師として38年間勤務 看護師、附属看護学校教員の経験を活かし現在、看護に関する項目を担当（学校救急処置、健康生活、看護技術の基礎など）

日本環境感染学会、医療機器学会会員

たち えつこ
舘 英津子

心身健康科学科
(看護学)

出張講座テーマとねらい

たばこの害について

近年、喫煙が身長、視力、学力にも影響していることがわかってきました、この講座では、あらためて喫煙の害をお伝えします。

体調不良時のケア

今回は発熱、下痢・嘔吐、咳に絞って根拠に基づいたケアについて説明します。

子どものけがのケア

今回は打撲（頭部含む）、ねんざ、打撲、創傷（擦り傷、切り傷）などのケアについて説明します。

講師紹介

専門分野

成人看護学・たばこの社会的依存性について

プロフィール

愛知みずほ大学特任准教授。

喫煙指導や食事指導をする病棟看護師、保健師業務の経験から、どうしたら一般の方々により わかりやすく、より興味を引く指導ができるだろうかと模索していく中で教育学を学び、現職に至る。

つちや まち
土屋 マチ

**心身健康科学科
(臨床心理学)**

出張講座テーマとねらい

カウンセリングってどういうもの？

「カウンセリング」という言葉からどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。

カウンセリングを行うカウンセラーに必要な基本的態度は、「受容」と「共感」です。

この受容的かつ共感的に相手（相談者、クライアント）の話を聴くということは、言うは優しく実践は限りなく挑戦的で難しいものです。

出張講座の中では、私たち人間の＜対象を認知する＞という知覚特性のあり方に触れ、私たちは外界をありのまま客観的に正確に知覚しているわけではなく、私たちの知覚は個人的な体験など、内的体験の影響を大きく受けていることを紹介しつつ、カウンセラーがカウンセリングの場で話を聴く基本的態度のあり方についてお話しします。

講師紹介

専門分野

臨床心理学

プロフィール

医療・教育・福祉領域での心理臨床実践を経て大学助教・講師として教育・研究に関わり、現在、愛知みずほ大学准教授。臨床心理士、公認心理師。

ながおか

ゆきこ

長岡 由紀子

心身健康科学科
(臨床心理学)

出張講座テーマとねらい

布コラージュを楽しむ

紙の切片を切り貼りして行うコラージュを、本講座では、布を用いて行います。布コラージュは「肌ざわり」などの感覚も用いるため、紙のコラージュとは異なる体験となります。布コラージュによるイメージ表現を楽しむことを目的としています。(いらない布などのご用意が可能でしたらお願いします)

声で楽しむ児童文学

児童文学は平易な言葉で書かれた物語ですが、それだけ人間の心情や出来事の本質がえがかれている文学でもあります。また、子どもたちがあきることなく読むことができる文章でもありますので、声に出しても心地よい、リズムの良い文章でもあります。このような文章の妙をご紹介します。(対象とする題材は、児童文学や詩などご要望に応じます)。

講師紹介

専門分野

芸術表現療法、児童文学

プロフィール

中京大学体育学部卒業、中京大学体育学研究科修士課程修了後、しばらくの後に、鹿児島にて病院の心理カウンセラー及びスクールカウンセラーに従事する。その後、浜松大学・大学院(現常葉大学・大学院)にて、心理臨床家養成に携わる。現在、愛知みずほ大学教授。臨床心理士、公認心理師。

ばん みさと

阪 美里

心身健康科学科
(情報科学)

出張講座テーマとねらい

自分の身は自分で守る

高度情報化社会、IT 革命と言われて随分と時間が経過しました。学校の授業では今や、ICT教育が導入され、情報機器を扱い、ネットワークにアクセスするのは当たり前前の時代。でも、ネット社会における怖さを知らない人もまだ多いのではないのでしょうか。それでは、どうしたら良いのか。答えは「自分の身は自分で守る」しかない、ということです。携帯、スマホ、タブレット、ウェアラブル端末...世の中便利になり、世界中の知らない人ともつながりやすくなりました。しかし、そこには楽しいことばかりではなくキケンも潜んでいるということや、その対応策を知っておく必要があります。その上でネット社会を存分にエンジョイして欲しいと思います。

講師紹介

専門分野

化学、情報科学、初年次教育、著作権教育

プロフィール

企業経験を経て、愛知みずほ大学へ。現在、愛知みずほ大学准教授。

人間科学コースの学生を対象に、基礎を身につける初年次から、卒業研究をまとめる卒業年次まで、ゼミ形式での一貫指導を行っている。

ひろい いずみ
廣井 いずみ

**心身健康科学科
(犯罪心理学)**

出張講座テーマとねらい

非行傾向のある子どもの理解と支援

非行傾向のある子どもも、自分が関心を持ってもらえると思えたり、誰かの役に立つと感ずることができると、立ち直りの一歩になります。今までの研究の中から、立ち直りのプロセスを経験した元少年たちが、何を糧に歩んできたのかご紹介したいと思います。その中から、非行傾向のある子どもへの関わりのヒントを見つけていただければと思います。

聴く力を身につける

サークルと呼ばれている、互いを尊重しあって、多様な声に耳を傾けようとする対話の形式があります。紛争地域での関係性の修復からいじめの予防まで、さまざまな領域で使われています。じっと人の声に集中して聞き入ること、その時にわいてきた言葉を口にするすることで他者への尊重と相互理解が生まれます。サークルのご紹介と、そのミニ体験をしたいと思います。16人程度までで行いたいと思います。

講師紹介

専門分野

犯罪心理学 青年期心理学 家族心理学 コミュニティ心理学

プロフィール

大阪市立大学生活科学研究科後期博士課程修了 学術博士

家裁調査官として、少年事件、家事事件に携わった。

大学では、犯罪心理学、臨床心理学を教えている。

助け、助けられることを通じた関係性の構築による非行少年の立ち直り支援、両親の争いの中に置かれた子どもの気持ちの理解、互いを理解しあうサークル（対話の一形式）に関心を持っている。

もり ちづる
森 千 鶴

**心身健康科学科
(養護教育)**

出張講座テーマとねらい

よりよいコミュニケーションを築くために

子どもからも、大人からもコミュニケーションが苦手という声をよく聞きます。自分の気持ちや考えを上手に伝えるためには、また、相手の話を上手に聞くためには、どうしたらよいかを一緒に考えていきます。

養護教諭が行う健康相談

身体的な不調を訴えて保健室に来室する子どもたちの中には、心の健康問題が関わっていることが少なくありません。「養護教諭の職務の特質や保健室の機能を十分に生かし、「心や体の両面への対応」を行う健康相談について、一緒に考えていきます。

講師紹介

専門分野

保健科教育、教育相談

プロフィール

名古屋市立小学校養護教諭、管理職、小学校スクールカウンセラー（公認心理師）などを経て、現在、愛知みずほ大学特任教授。

担当科目：保健科教育法Ⅰ・Ⅱ、教育相談、養護活動実習など

東海学校保健学会、日本学校保健学会、日本養護教諭教育学会、日本健康相談活動学会、日本学校カウンセリング学会 学会員

やまね もとい
山根 基

心身健康科学科
(運動生理学)

出張講座テーマとねらい

スポーツの現場における取り組みとその理論

現在、部活動としてスポーツを行っている小・中・高校生からトップアスリートまで、さまざまな工夫を凝らした練習法やコンディショニング法が多くスポーツ場面で実施されています。その理論や正しい活用方法について検討します。

健康づくりとしての運動の役割

生活習慣病の予防や生活の質（QOL）の向上に、適度な運動・スポーツ実施が有用であることは明らかとなっています。しかしながら、現在成人で運動習慣のある人の割合は約30%と低く、今後はより多くの人たちの運動行動を改善することが社会的課題となっています。したがって、運動習慣の形成についてさまざまな観点から検討したいと考えています。

講師紹介

専門分野

運動生理学

プロフィール

愛知みずほ大学人間科学部卒業 中京大学大学院体育学研究科博士課程単位取得退学 中京大学生命システム工学部 助手 愛知みずほ大学人間科学部 教授 日本体育学会、日本体力医学会、日本運動生理学会、日本公衆衛生学会、運動疫学会等会員